

サツマイモ植えたよ

全校児童404人の本校には、体育館の裏に広い畑があります。

6月15日(金)には、老人会や民生委員の皆さんのご協力のもと1年生がサツマイモの苗植えをしました。前日には、畑の畝を増やしたり、マルチへの穴開け、水まきをしたりなどの準備をしていただきました。

そしていよいよ苗植えです。一人に二本ずつではありましたが、棒で穴を作り、苗を差し込んで丁寧に植えることができました。サツマイモの収穫の際にもご案内する予定です。

これからも地域に開かれた、地域とともにある学校づくりを推進していきます。



地域の皆さんとサツマイモの苗植えをする1年生

短歌会

日の出前ハウスのオクラを収穫すそれでも手袋に汗滴りぬ
夏空を区切りて早しジェット機の雲一線にのびて青空
雨止まぬ空見上ぐれば思い出す泥田に立ちし朝の驚き
梅雨明けて強き日照りに一斉に白き木槿の花は咲きたり
雨にぬれアジサイの花がさいているでんでんむしもうれしそう

梅田 國雄
河北 幸一
佐藤せい子
中村トシエ
松本 東亜

菊陽句会報

きくよう文芸

願掛けの村人二、三早苗月
雲流る淡い光の梅雨晴間
地震豪雨死刑のニュース梅雨憂ふ
茂り合ひ雄蕊ばかりの南瓜つる
阿蘇の植田湧水満ちて揺れにけり
田植機の夕日の影や植ゑ急ぐ
躊躇なく優先席や夏の旅

田島 三間
宮川ユキエ
紫藤 祥子
曾我 育代
曾我トモ子
緒方チエ子
財津 早雪

梅雨明や豪雨に沈む町の黙

古扇風機ときどき機嫌こわしけり

日の恵み籠いつぱいのトマトかな

雨あがる蓮が並んで凜と咲く

からつばの体に葛切流れこむ

汗まみれ歴刻みたかつたW杯

草引きの疲れいささか夕支度

原野レイ子

寺尾千代子

高橋 孝子

福田 貴子

田中 亜古

北川しんじ

佐藤 澄世

ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば 113

人権教育・啓発課 ☎(232)2113

「私の母」



夢に向かって

母は、看護師をしています。朝、私たちが学校に行ってから約40分あとに家事を終わらせて仕事に行きます。母は老人ホームで働いています。なので、緊急な用事ができると家に帰ってきててもご飯を作ってすぐ仕事場に戻る時もあります。そういう時は、皿洗いなどお手伝いをします。私が休みの日で、母が仕事の時は一緒に仕事場に行くこともあります。母の仕事場の話は何度か聞いた事があります。母はおばあちゃんやおじいちゃんがすごくかわいいと言います。私が聞いた話ではテレビから流れてくる音楽に合わせて、おじいちゃんも一緒に歌うそうです。すごくかわいかったと言っていました。たまたま、母が仕事で悩んでいる時は、私に相談してくれます。でも、例えいやなことがあっても、すごくやりがいがあると母は言います。「大変だけど、きつくない」と言います。

ある時母は、利用しているおじいちゃんのご家族にお礼を言われたそうです。施設の中で転んでけがをしたおじいちゃんがおられたので、なるべく不自由がないように、またけがをしたりしないようにと、お世話をしやすい部屋に移しました。「自分がその人の家族だったら」と思って、そうしたと言っていました。「すぐに対応して下さってありがとうございます」とご家族から感謝の言葉を頂いてとてもうれしかったそうです。「大変だけど、きつくない」ということは、こんなふうに利用者みなさんや、利用者のご家族の感謝の言葉があるからだと思ひます。

それに、時々きついこともあるけれど、その気持ちを吹き飛ばして笑わせてくれるのは利用者みなさんだと思います。私も、職場での話を聞いていると笑ってしまうことがよくあります。私が学校でいやなことがあっても帰っても、母の仕事場の話の話を聞くとそんなことが吹っ飛ばすくらい笑うことができます。母は、きつくていやな事があっても、だれにでもふつうに接してすごいいと思います。

菊陽北小学校 6年 矢野 碧

私が悩んでいるとどんなにそがしくても相談にのってくれます。その時は、たくさんのアドバイスをもらいます。そのおかげでいつもすごく助かっています。私はいやな事があるとすぐに出てしまうので、母の接し方にはすごくあこがれている部分があります。

母が夜さんの時はすごくさみしいです。夜さんの時は、私たちが起きる時間になると連絡をくれます。朝は連絡がとれてすごく嬉しいけど、夜は連絡が取れないので、すごくさみしいです。そういう時も、お手伝いはかせません。母はお手伝いをすると、必ず「ありがとう」と言ってくれます。感謝の気持ちを言うしてくれるから私もやりがいを感じます。母が「大変だけど、きつくない」のも、そういうことなんだと思います。

母は、私に「将来は好きなことをやりなさい」と言います。母は私にこういう生き方をしてほしいという願いがあるそうです。それは、「やりたいことを自分で見つけて、その夢に向かって一生懸命がんばる」ということです。

私は、この言葉に胸を打たれました。私は心が折れて、すぐにあきらめてしまうことがあります。でも、この「夢に向かって一生懸命がんばる」ということを、私の目標にがんばっていきたくです。

私の将来の夢は助産師です。私は一度、母が看護学校で実習していた時のお話を聞いたことがあります。その時先輩の助産師さんは、異変に気がつくとすぐ動ける、何でもできる助産師さんだったそうです。そのお話を聞いたとき、すごくカッコいいなと思いました。自分もそんなふうな助産師になりたいなと思ひ始めました。母も看護師をしているので、同じように人の役に立てる仕事、その人が笑顔になれるような仕事したいなと思っています。そのために、これから勉強をもっとがんばりたいです。

私が一番あこがれているのは母です。私も母のように人の役に立つ仕事、笑顔にできる仕事につけるようにしたいです。そして、私は母のような強くて何事もあきらめない人になりたいです。

人権のまち菊陽フェスタ 入場無料

■日時 2018年(平成30年)9月8日(土)
午後1時30分～3時30分
(開場午後1時)
■場所 菊陽町図書館ホール
■主催 菊陽町
■後援 菊陽町人権教育推進協議会
菊陽町PTA連絡協議会
菊陽町同和問題を考える企業連絡会

■日程
(1)ステージショー(午後1時30分～)
出演：ココロ隊
(2)講演(一人芝居)(～午後3時30分)
「君をいじめから守る」
講師：福永 宅司さん
(子どもの学び館代表)
(広報8月号を参照してください)

